



イフジ産業の鶏卵相場予想

2025年 1月 の鶏卵相場予想

230円

(全農東京相場LM加重平均)

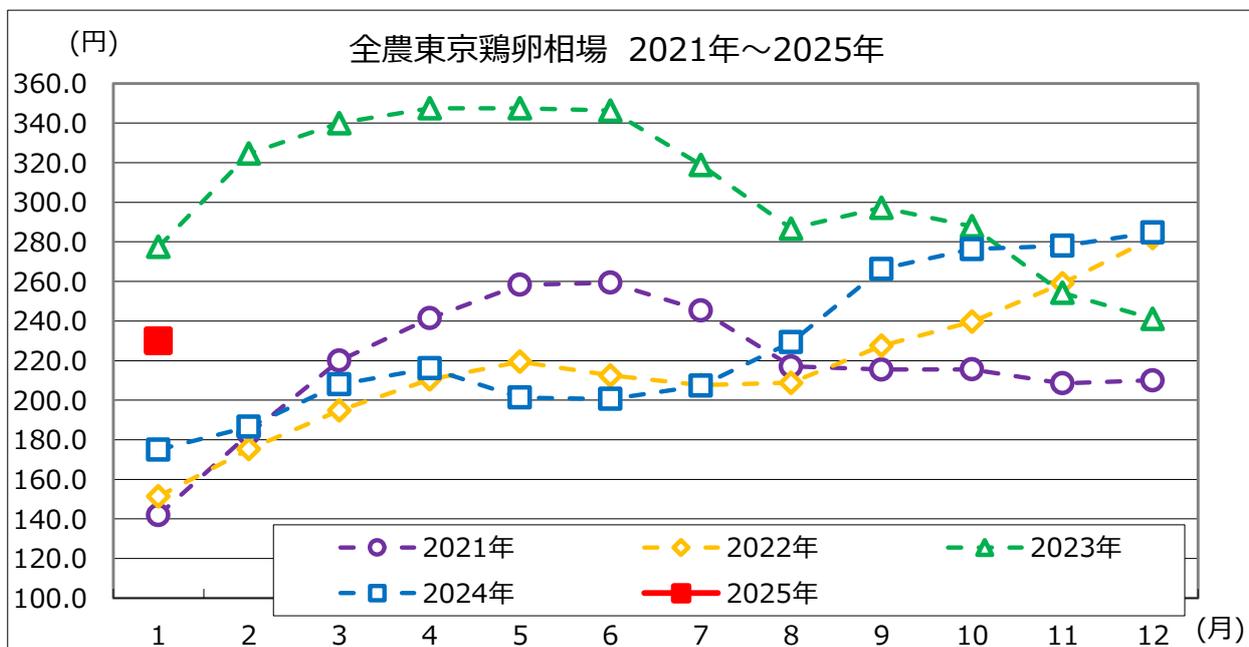
12月の相場ですが、前月最終値を引き継ぎLサイズ275円・Mサイズ285円にてスタートしました。その後、12月3日に両サイズ5円ずつ上昇しました。(2024年12月25日時点のLM加重平均285.0円、月間LM加重平均284.72円)

供給面では、引き続き外気温の低下に伴い、産卵率や個卵重は増加傾向となっております。しかし、依然として全国の餌付け羽数の平均値(2024年1月~10月)93.6%と低迷していることや鳥インフルエンザが各地で発生していることから今後の供給面への影響が懸念されます。一方の需要面では、業務・加工筋にて鳥インフルエンザ発生を見据えたスポットでの引き合いが多く見受けられましたが、量販筋では相場の上昇に伴った売価変更により落ち着きがあったように感じます。夏場の相場急騰後は緩やかな上昇傾向が続いています。

さて、新年1月の相場予想ですが、供給面では引き続き堅調な生産量で推移することが考えられます。ただ、前述の餌付け羽数低迷に併せて鳥インフルエンザが継続的に発生しているため注意する必要があります。農林水産省が発表している12月25日迄の鳥インフルエンザ発生件数(採卵鶏)は、10例となっており、「エッグショック」といわれた2022年度(12月25日迄で34例)と比較すると半数以下となりますが、北海道から鹿児島県までの全国で発生が確認されていることもあるため、引き続き予断を許さない状況です。一方の需要面ですが、気温低下による鍋物・おでんなどの需要は引き続き堅調に推移すると思われます。また、外食筋では忘年会や新年会の開催による需要の高まりが予想されます。

1月の相場予想ですが、上記要因と平常通り滞貨玉発生を考慮した初市相場からスタートしていくことを踏まえ、月間LM加重平均は230円付近と予想いたします。

ただし、今後の鳥インフルエンザの動向次第では、大きく状況が変わることが考えられますので、引き続き注視していく必要があります。



※2024年12月の相場は12月25日までの平均値。2025年1月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

